

# 事例シート

■After	リンゴット					
	建築名称	Lingotto				
用途	大分類	商業施設、宿泊施設、集会施設、教育施設				
	小分類	オフィス、国際展示場・会議場、ホテル、ショッピングセンター、映画館、大学、美術館				
設計者	Renzo Piano/RPBW					
所在地	Torino, Italy	<a href="#">Google Map</a>				
竣工年	2003年					
掲載誌						
資料	RPBW公式HP、Atlasoftplaces.com、bubblemania.fr					
賞・選定						
クライアント	フィアット社					
助成金・法令						
URL	<a href="http://www.rpbw.com/project/lingotto-factory-conversion">http://www.rpbw.com/project/lingotto-factory-conversion</a>					
	<a href="http://www.bubblemania.fr/it/globe-bolla-1994-renzo-piano-circuit-fiat-tu">http://www.bubblemania.fr/it/globe-bolla-1994-renzo-piano-circuit-fiat-tu</a>					
■Before	フィアット・リンゴット工場		概要 Before			
建築名称			欧州最大で最も近代的な自動車製造工場。長さは500m、地上5階建、延べ面積246,000㎡。1階の部品組立から始まり上に行くにしたがい車が製造され、屋上トラックで完成テストが行われた。モジュラー建築の最初の事例。			
用途	大分類	生産施設				
	小分類	工場				
■写真	Before	After		After		
	写真 Before					
	トリノ工科大学の教室群が並ぶエリア		構造建築家ネルヴィによる斜路の見上げ写真。合理的な構造形式が表れている			
撮影・提供者	撮影・提供者 柳沢伸也2004年撮影		撮影・提供者 柳沢伸也2004年撮影			
■手法	● 用途変更	部分保存	痕跡	● 外観保存	外観改変	外観保存、一部増築
	● 増築	減築	挿入	対比	同化	トリノのアイデンティティである自動車工場の建物を保存しつつ、建物を再生させることが目的。外観はほぼそのまま、内部は用途に合わせて大きく改造。ビル屋上に、シンボリックな透明な会議室が増築された。
	併存	引用	被覆	合体	補強	
	移築・曳家	復原・復原	遺構	アート		
■備考	<p>1920年代に建てられた自動車メーカーFIATのリンゴット工場を、国際展示場、国際会議場、ホテル、オフィス、商業施設、大学が入居する複合施設へと転用したプロジェクト。建物の長さは500m、地上5階建て、延べ面積は246,000㎡。屋上には自動車のテストトラックが装備されており、当時、ヨーロッパ最大かつ最も近代的な自動車製造工場といわれていた。アメリカのフォード社を参考にベルトコンベアー方式の合理的な工場だったが、フォード社が平面的に建設されていたのに対し、リンゴットは立体的に構成され、自動車の製造工程と共に上階に行き、完成車は最後に屋上のコースでテストされた。建物は、同じ柱・梁・床の3つの要素を繰り返し構成したプレキャスト建築構造の最初の事例でもある。1階から屋上までつながる両端のスロープには、合理的な構造形式が顕著に表れている。</p> <p>1982年に工場が閉鎖された後、フィアット者は、1984年に設計競技を行い、1985年にレンゾピアノ/RPBWに設計を依頼した。建物の外観はほとんど改変されていないが、内部は展示場や会議センターとホール、2つのホテル、FIAT社の入るオフィス、商業店舗を収容するために、大きく改造が行われた。ビルの屋上にある透明な会議室「La Bolla (泡)」とヘリポートは増築部分で、国際会議場と2本のエレベーターでつながっている。</p> <p>このプロジェクトは、トリノのアイデンティティである自動車工場の建物を保存しつつ、多目的センターに転用することによって、建物を再生させることを目的としていた。結果的には、自動車産業都市としてのトリノが、文化や商業を牽引する先進都市としてのイメージへと転換する先駆けとなった。</p>					
■作成者	氏名(所属)	柳沢伸也 (JIA再生部会)	整理番号	SY-002		